

コロナ禍のなかで盂蘭盆会



季刊

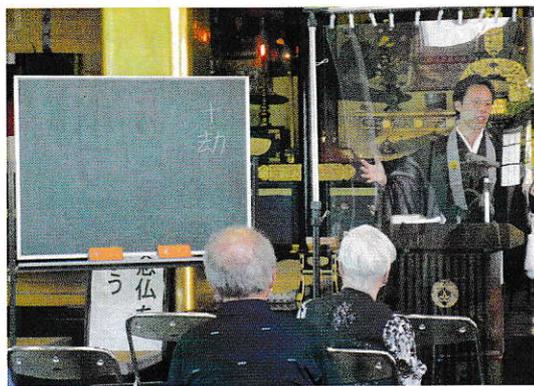
覚法寺

〒862-0956
熊本市中央区水前寺公園1-25
電話 (096)383-4874
FAX (096)383-3050
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp
<http://www.facebook.com/kakuhouji>



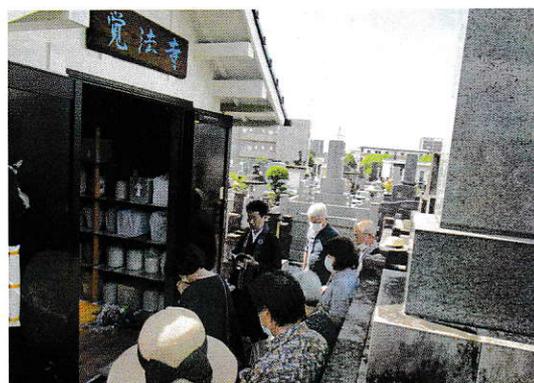
子どもさんたちが受付の手伝い

新型コロナウイルスの影響により、春から覚法寺の行事もほとんど中止としておりましたが、当初の得体的に恐ろしい未知なるウイルスという恐れが、徐々にその正体が知られてきて「新しい生活様式」という指針も表示され、七月からようやく感染防止対策を練り定例法座など、それぞれ行事を再開いたしました。



新しい様式での法要

しかしすべてが元通りに再開されたわけではなく、どうしてもリスクのあるものはそのまま休止の状態です。そのような中、八月の「盂蘭盆会法要」は肅々と厳修できました。ソーシャル・ディスタンスを保ち、ご法話をされます御講師の前には、安全対策としてアクリル板でガードを施し、マス



京塚納骨所の勤行

クに消毒液など、様々な対策を練り無事におえられたことは、本当に良かったと思います。お茶菓子などをお持ち帰りでお土産とさせていただきます。また京塚納骨所での盂蘭盆会法要も滞りなく厳修できました。皆さま方それぞれにお暑い中、ようこそお参り下さいました。

住職雑記

驚きの話を聞きました。地球上の人口76億人のうち半分にあたる、経済的に恵まれていない側の38億人の資産合計は150兆円だそうで、これは世界の富裕層上位の僅か26人の資産と同じ金額になってしまうそうです。▼また世界では、資産が1万ドル(約100万円)までの人が28億人もおられ、対して資産が100万ドル(約1億円)以上の人は4700万人だそうです。さらに問題なのは、前年より貧困と富裕層のそれぞれ、10%さらに差が広がっている状況なのだそうです。▼これは「資産の格差」としての話題でした。浄土真宗の宗門ではSDGsという国連の取り組みに加わり、17の諸問題解決に向けて取り組んでいる状況です。主なものをまとめますと、①貧困をなくす。②飢餓をゼロに。③すべての人に健康と福祉を。④質の高い教育を。④などはノーベル平和賞を受賞したマララさんの言葉と通じるものがあります。質の高い教育こそが、未来を大きく変える重要なファクターになるという考えであります。▼それは本当の意味での平和であり、本当の意味での豊かさに満ちた未来を指しているのだと思います。

ご本尊は本山から
お迎えしましょう

ご本尊について
のお問い合わせ

参拝部
覚法寺
☎075(371)5181 まで
☎096(383)4874 まで

熊本県南部豪雨水害 支援物資のお届けと復旧作業のボランティア活動

熊本県南部の豪雨水害に際しまして、支援物資の呼びかけを行いました。その後すぐに沢山の支援物資が集まりました。皆さまからの物資を、人吉市の保険会社と球磨郡の二か寺に分け無事お届けしました。

球磨川そばの建築物は一階の屋根あたりまで濁流に浸かり、色々なものが濁流に流されていったそうです。そこで支援物資として衣類やランドセル、文房具、学習本、マットなど沢山集まりました。校区の学校関係者やお寺関係者から続々と物資のご寄付がありました。

支援物資をお届けしました後は、ボランティア活動の募集がありましたので人吉別院へ清掃や復旧作業のお手伝いに覚法寺から数名参加致しました。また被災現場近くでは、仮設住宅の整備が進んでおりますので、



生活用品セットを仮設住宅へ搬出



生活用品セットの搬入作業



人吉市の明治安田生命へ

大阪の「震災支援を続ける会」より約三〇〇世帯分の「生活用品セット」が熊本へ寄付されましたので、その搬出や搬出作業のお手伝いを住職・坊守でさせていただきました。生活用品セットの中には、フライパンやお鍋や急須やお皿など、色々な物が入っております。

七月二十日(月)覚法寺坊守さんの実家である球磨郡あさぎり町の善正寺に行き、支援物資と熊本組仏教壮年会からの見舞金五万円を球磨組仏教壮年会に寄付いたしました。九月四日には八代組仏教、九月九日には芦北組仏教にもそれぞれ五万円ずつ見舞金を寄付いたしました。(陣内 巧)

七月十八日(土)と七月二十三日(木)に芦北町佐敷にボランティアで勝延寺さんへ行かせてもらいました。一階のサッシの上の方まで水が来ていて、命からがら二階へ逃げられたそうです。本堂、庫裏の床もはいで乾かしてあります。現在は親戚の家から通われていたそうです。(光寺)

七月二十八日人吉別院に泊まり、二十九日朝から熊本別院のボランティアと合流して、人吉別院のご門徒さんの家の片づけを手伝えました。屋根の流木を下ろしたり、床上に二十センチほど溜まった汚泥を取り除いたりする作業でしたが、雨上がりのカンカン照り

の暑さに加え、コロナ感染予防とホコリを吸い込まないように、マスクをつけての作業は想像以上に苦しいものでした。二十分作業して十分間の休憩が最初はお面倒くさいと思っていたのが、そのおかげで無事なんとか最後まで動けたのかも知れません。ボランティアはその日だけですが、そこに住んでいる人は、毎日これを続けなければならぬと思うと、とても自分たちだけでできることではありません。より多くの人たちの協力が必要だと思います。(福田)



泥を排出作業

ダーナ基金だより

日頃よりダーナ基金へのご理解ご協力ありがとうございます。

今回は「熊本県南部豪雨水害」への義援金として、熊本教区教務所の災害対策へ五万円、球磨組の災害対策へ五万円、震災支援を続ける会へ四万五千円をそれぞれ送金致しました。今後ともあなたのささやかなお気持ちをどうぞお届けください。



お寺の本堂入り口に募金箱を設置しております。(はちすの会 ダーナ基金係より)

熊本仏教壮年会

六月二十日熊本教務所において、熊本教区仏教壮年会連盟第一回正副理事会にて役員改選が行われ、覚法寺仏教壮年会代表の陣内巧さんが理事長になられました。

「誠に重たい役です。しかし有難い御縁と思いお引き受け致しました。覚法寺仏教壮年会のみなさんや、各教区理事、熊本組のご協力を頂きながら、『ともに聞きまことのよろこびを伝えよう』のスローガンの下、活動に邁進してまいります。」という初心表明をされました。覚法寺からは三嶋統吾さんに続き、二人目の理事長就任という快挙です。みんなでお祝いしましょう。



陣内巧さん

覚法寺仏教婦人会

蓮華の会だより



私達の主な活動・・・(夏より初秋へ)・・・

コロナウイルスの拡散も徐々に収まって来ているかの如くですが、確実な防止策の得られぬまま、今迄とは少し違った社会生活となりつつあるようです。蓮華の会も衛生学的に勧められている点に配慮しつつ7月、8月と例会を開きました。いつもより若干少な目ではありましたが、お互いの無事を喜びつつの集いでした。

7月 ●例会

久し振りに皆でお勤めの後、ビデオにて「釋徹宗」師の解説による「歎異抄」のお勉強。その後、住職さんの補足により、より深く理解できました。「歎異抄」…親鸞聖人の考えや教えが濃密に表現されている書
会の最後は7月恒例のお楽しみ会
(ビンゴゲーム…もちろん景品もありましたよ🌸)



8月 ●例会&お盆の法要(歓喜会)

当寺に納骨されている方々と一緒に本堂でお勤めの後、「青木崇信」師による法話

9月

コロナウイルス拡散警戒レベル上昇により例会は中止となりました。彼岸会法要中のお齋(私達手作りの「ちらし寿司」)も、お出しすることができませんでした。

夏のおもひで

八月五、六日に予定していた夏の寺子屋子ども会が、直前にコロナ警戒レベル4になり、やむなく中止となりました。

お泊りはなくなりましたが、毎日お寺に来る子どもたちと、せめてできる範囲で夏の思い出作りをしよう、一緒に川遊びをしました。



かき氷と焼きとうもろこしのおやつ



石の上からみんなでジャンプ



掃除の後、そのまま水遊び



職員も一緒に水の中に入りました

阿弥陀さまのおはたらきとおそだて

三月、コロナ禍による緊急事態宣言。学校は休校になり日中行き場のない子供達(小学生)をお寺で預かることになりました。その子供達に夕方のお勤めや掃除を日課としてさせていました。「お挨拶はちゃんとしなさい!履物はきれいに揃えなさい!お経を唱える時は帽子をとりなさい!掃除はもつと丁寧!やり直し!ふて腐れて掃除しない!ブツブツ文句いわない!」いちいち小言を言う私は、子供達にとつてさぞかし疎ましい存在だったでしょう。それから数カ月経ち、子供達はお経も挨拶も掃除も次第に出来るようになりました。

ある日のこと、お寺でのご命日のお勤めを私が担当することになりました。私が来訪されたご門徒さまに御挨拶し、後を振り返ると、いつものように遊びに来ていた女の子二人が、私と同じように正座して深々と頭を下げて挨拶するではありませんか!!私は嬉しさのあまり思わず、「わあ、お利口さんねえ。」と、言いました。そして更に、正信偈のお勤めを唱え始めたところ、「南無不可思議光」と、その女の子二人の声が後から聞こえてきました。一人は、お経の最後まで一緒に唱えてくれました。お勤めが終わりが門徒さまは、「自分自身が小学生の頃、祖母に連れられてよくお寺にお参りに行き、正信偈

を唱えていました。その頃を思い出しました。主人の命日のお参りでしたが、祖母を偲ぶことも出来て、大変有難い命日の日となりました。この子供達のおかげです。」と、大層喜ばれました。またなんと、ご門徒さまが腰掛けられていた椅子を、女の子達は自ら進んで片付けてくれたのです。私は、深く感動しました。彼女たちも照れながら喜んでいました。ご門徒さまと二人の女の子、そして小言を言う疎ましい存在の私が、お念仏によって一味になったように感じました。

男女貴賤ことごとく
阿弥陀の名号称するに
行住坐臥もえらばれず
時処諸縁もさわりなし

老若男女、貴賤を問わず、何処に住んでいようと、病で臥していようと、分け隔てなく阿弥陀如来は、南無阿弥陀仏のお名号となつて私たちにはたらいてくださっています。そのことを喜ぶことを、信樂受持と申します。

ご門徒さまと子ども達と小言を言う私共、共に信樂受持を味わせて頂いたことは、大変有難く感慨深いものであります。これも偏に阿弥陀様のおかげ



音光寺

どうぞお参りください

報恩講法要

十一月二十三(月)、二十四(火)日、覚法寺本堂において報恩講法要をお勤めいたします。ご講師は球磨郡多良木町慈願寺の那須弘紹先生です。例年三日間のところ、今年は二日間になりました。お斎はまだ様子を見ています。コロナ感染にはできる限り用心しながらお待ちしております。

元旦会法要 初詣

令和三年一月一日(金)午前七時より本堂で正信偈のお勤めがあります。引き続き納骨所にて一座法要。集会所にてお屠蘇をご接待いたします。

御正忌報恩講

令和三年一月九日(土)より十六日(土)まで、京都の本願寺で御正忌報恩講がとまります。どうぞお参りください。

十月からのお勤め(晨朝)の時間が七時になりました。

毎月16日7時(宗祖親鸞聖人の御命日)お寺に参る。門信徒総参拝

趣味の写真集や自分史を作ってみませんか? 1冊よりお作り致します。



PRINTING & COPY

株式会社 太陽社

〒862-0972 熊本市中央区新大江2-5-18
TEL 096-366-1251
FAX 096-364-7672

http://www.taiyo-sha.net

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の令掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37
(三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720